

# 土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調査名 二級河川沼田川水系沼田川外河川激甚災害対策特別緊急事業に伴う業務委託（その1）

事業名 または 工事名

調査目的及び調査対象 河川 護岸

ボーリング名	菅川-L0K600-3		調査位置	三原市本郷町船木		北緯	34° 25' 35"	
発注機関	広島県東部建設事務所三原支所				調査期間	2019年 12月 2日 ~ 2019年 12月 4日		
調査業者名			主任技師			現場代理人	コア鑑定者	ボーリング責任者
孔口標高	GH= 8.40m	角	180° 上下 0°	方位	北 0° 東 90° 南 180° 西 270°	地盤勾配	水平0° 鉛直90°	使用機種
総削孔長	11.30m	度	0°	度		試験機	カノー製 KR-SH	
						エンジン	ヤンマー製 NFD-6	ポンプ
								カノー製 V5-P

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名 (模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	地質時代名	地質	記述	孔内水位 / 測定月日	標準貫入試験					試験採取	室原位置試験	削孔月日				
													深度-N値図											
													N	深	100mmごとの打撃回数	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	深	試験採取番号	採取方法			
0	8.10	0.30	シルト質砂	シルト質砂							粒子均一な細砂、シルト分を混入する。	▽	0	0.30	300	300	300	300	0.30	P-1	○		12/2	
1	7.20	1.20	玉石混じり砂礫	玉石混じり砂礫		灰					φ20~70mm程度の礫主体としφ75~180mm程度の玉石混入する。マトリックスは細砂主体とする、含水量大。		1	1.15	5	2	1	8	300	1.15	P-2	◎		
2													2	1.45	3	4	4	11	300	1.45	P-3	○		
3													3	2.15	3	4	3	10	300	2.15	P-4	○		
4						灰					細砂主体粒子不均一で含水量大。		4	3.45	3	3	3	9	300	3.45	P-5	○		
5													5	4.15	3	3	3	9	300	4.15	P-6	○		
6	2.60	5.80				暗灰					粘性強くシルト分を混入する。		6	5.15	4	4	4	12	300	5.15	P-7	○		
7	2.00	6.40	シルト混じり粘土	シルト混じり粘土		暗灰					細砂主体粒子不均一で細礫混入する、含水量大。		7	6.15	1	1	1	3	300	6.15	P-8	○		
8	1.70	6.70	礫混じり砂	礫混じり砂		暗灰					粘性強くシルト分を混入する。		8	7.15	1	1	2	300	7.15	P-9	○			
9	1.40	7.00	シルト混じり粘土	シルト混じり粘土		暗灰					粘性強く有機物を多く混入する。		9	7.45	1	1	1	3	300	7.45	P-10	○		
10	0.95	7.45	有機質粘土	有機質粘土		暗灰					細砂主体粒子不均一で細礫混入する、含水量小。		10	8.15	1	1	1	3	300	8.15	P-11	○		
11	0.50	7.80	礫混じり砂	礫混じり砂		暗灰					粘性強く有機物を多く混入する。		11	9.15	2	4	5	11	300	9.15	P-12	○		
12	-0.60	9.00	シルト質砂	シルト質砂		暗灰					微細砂を主体とし全体的にシルト分を混入、含水量小。		12	10.15	5	6	6	17	300	10.15	P-13	○		
13	-1.05	9.45	礫混じり砂	礫混じり砂		灰 / 黄褐					細砂を主体とし細礫混入する、含水量小。		13	10.45	5	6	6	17	300	10.45	P-14	○		
14	-2.40	10.80	砂礫	砂礫		黄褐					φ2~50mm程度の垂角礫、垂円礫主体としシルト分を多く混入する。細砂主体粒子不均一で含水量小。		14	11.15	34	16	16	50	150	11.15	P-15	○		12/3
15	-2.90	11.30	砂礫	砂礫		黄褐					φ2~50mm程度の垂角礫、垂円礫主体としシルト分を多く混入する。細砂主体粒子不均一で含水量小。		15	11.30	100	50	50	150	150	11.30	P-16	○		